

災害への備えはできていますか？

【企業の防災対策とは？】

企業は従業員とその家庭、顧客の安全を確保する責任を有するとともに、地域の防災力として欠かせないものと認識されてきています。また、事業の継続、いち早い再開も地域経済の再建に不可欠です。

「自らの組織は自らが守る」の原則に基づき、日常から防災対策を検討し、災害に備える必要があります。

弊社

こんにちは。
防火・防災でお困りごとはありませんか。
何でもお聞かせください。

お客様

●災害用に備蓄したいけど何がいいんだろう。
●何から始めればいいのかわからない。

御社の災害リスクについて
お話しさせていただきます。

弊社

こちらのハザードマップをご覧ください。
必要な備蓄をご提案させていただきます。

お客様

●ここの内容を変えて欲しい。
●これはどのような道具ですか。

弊社にお任せください！！

★市町村より発行されています「ハザードマップ」及び弊社のチェックリストに基づき
お客様の備蓄状況をヒアリングいたします。

★その後、お客様に必要な災害備蓄品をご提案し、お客様の「安心・安全」をサポートさせていただきます。
ご不明点や要望などお伝えください。

メリット

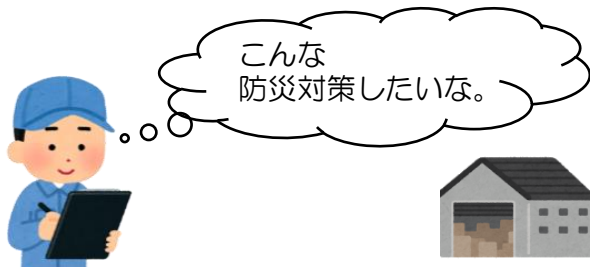
- 企業に必要な備蓄量が明確にわかる。
- リスク対策上の課題が見つかる。
- 備蓄品の期限切れを防ぐ。



災害発生時の
ダメージを軽減！

無駄・無理の
無い備蓄

設備の見直しや、備蓄品を見直すことで、更にワンランク上の災害対策が取れ
リスク管理が強化されるため、災害によるダメージの極小化につながります。



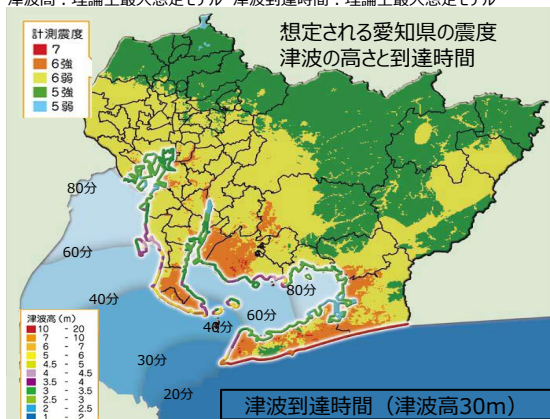
ご心配・お困りごと
ご相談下さい！



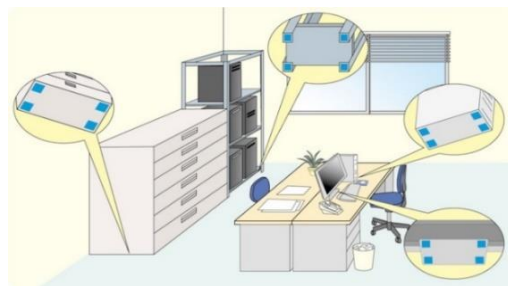
お気軽にご相談下さい

■ 地震対策資機材

震度：過去地震最大モデル
津波高：理論上最大想定モデル 津波到達時間：理論上最大想定モデル



(出典) 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予想調査結果
(平成26年(2014)5月公表)



- ☐ オフィスの耐震補強
 - ☐ 避難用品
 - ☐ 救助資機材
 - ☐ 救護資機材
- など

■ 水害対策資機材

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである
(注) 避難指示は、令和3年の災害対策基本法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する

(出典) 内閣府



- ☐ 水害対策用品
 - ☐ 復旧作業資機材
- など

■ 感染症対策資機材



- ☐ マスク
 - ☐ アルコール
 - ☐ 間仕切り
- など

■ 対策本部資機材



- ☐ テント
 - ☐ 発電機
 - ☐ 拡声器
- など

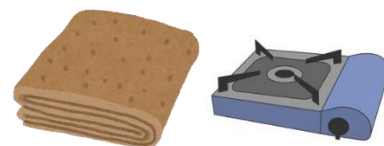
■ 備蓄品



- ☐ 非常持ち出し袋
- ☐ 非常食
- ☐ 水



- ☐ 救急セット
- ☐ 衛生用品



- ☐ 生活用品
- など